

怪奇の本棚

《全6巻》

- ◆四六判変型・上製ジャケット装
- ◆装幀 川山田英春
- ◆平均予価 3400円＋税
- ◆季刊配本

幽霊屋敷の怪異、猿の手、不死者の恋、
禁忌の木立、妖術師の島、
「血の伯爵夫人」伝説――
中世怪談、ゴースト・ストーリー黄金時代から
モダンホラー前夜まで、
恐怖の愉しみを満喫させる
怪奇小説ファン待望の本格的コレクション
本邦初訳多数

第1回配本

南條竹則 編訳

英国幽霊いまむかし

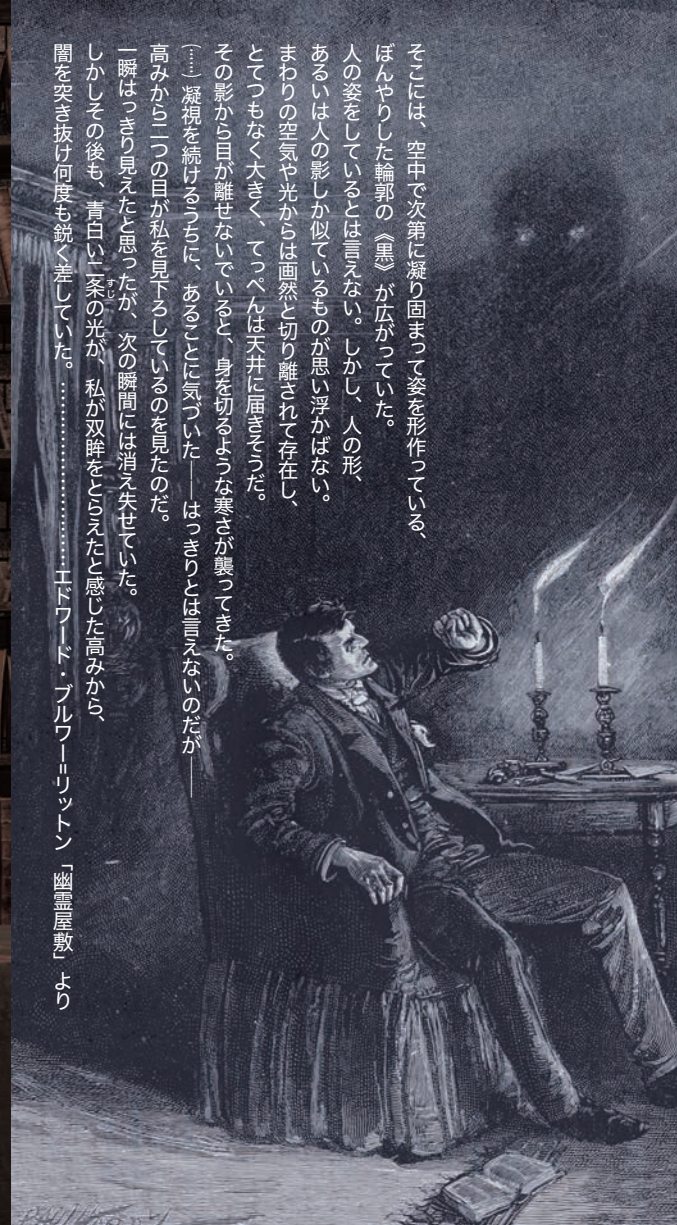
2026年2月刊 定価：本体 3600円＋税
ISBN978-4-336-07831-5

国書刊行会

〒174-0056 東京都板橋区志村 1-13-15
TEL. 03-5970-7421 FAX. 03-5970-7427
<https://www.kokusho.co.jp>

国書刊行会

そこには、空中で次第に凝り固まって姿を形作っている、
ぼんやりした輪郭の《鬼》が広がっていた。
人の姿をしているとは言えない。しかし、人の形、
あるいは人の影しか似ているものかと思ひ浮かばない。
まわりの空気や光からは画然と切り離されて存在し、
とてつもなく大きく、てっぺんは天井に届きそうだ。
その影から目が離せないでいると、身を切るような寒さが襲ってきた。
（……）凝視を続けるうちに、あることに気づいた――はつきりとは言えないのだが――
高みから二つの目が見下ろしているのを見たのだ。
一瞬はつきり見えたと思ったら、次の瞬間には消え失せていた。
しかしその後も、青白い一条の光が、私が双眸をとらえたと感じた高みから、
闇を突き抜け何度も鋭く差していた。……………エドワード・ブルワーリットン「幽霊屋敷」より



英国幽霊いまむかし

ISBN 978-4-336-07831-5

イギリスは怪談が盛んに書かれた国だが、それが文芸の一分野として成立する以前に、怪談実話やフォークロアの形で長い伝統があった。

素朴な幽霊譚から次第に洗練された小説形式が生み出されるさまを時代を追って辿る英国怪談アンソロジー。

ブル・ジェイムズが発掘した中世怪談から、怪現象(レッドワースの鼓手)事件、ブル・ワーリットンの名作「幽霊屋敷」、ダンセン二卿、ウェイクフィールドA・C・ペンズンらの傑作まで全十四篇。(共訳 高沢治)

倉阪鬼一郎 ◆ 編訳

恐怖万華鏡

ISBN 978-4-336-07832-2

その干からびた猿の手は三つの願いをかなえるという。

W・W・ジェイコブスの極め付きの名作「猿の手」、

ヴィクトリア時代の人気作家マーガレット・オリファントの

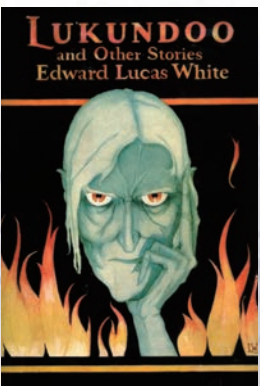
傑作ゴースト・ストーリー「図書館の窓」、

メアリ・E・ウィルキンズ・フリーマン「ラベンダー交響楽」をはじめ、

ハーヴェイ・トマス・パーク・ベリスフォード、E・L・ホワイト他、

恐怖の神髄を知るホラー小説家、倉阪鬼一郎が

取っておきの怪奇短篇を紹介するアンソロジー。(共訳 館野浩美)



M・P・シール 南條竹則 ◆ 編訳

至上の命

ISBN 978-4-336-07833-9

十六世紀、異教徒としてスペインのガレー船に捕まり、

樽に入られ海中に投げられた英国人青年の数奇な運命を描いて、

シール恐怖譚の最高傑作とも称される「ソールの暗き運命」、

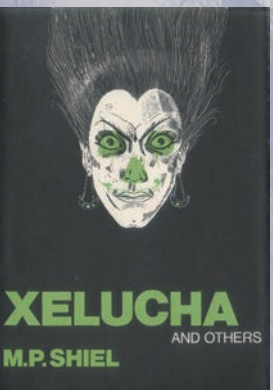
何千年も地上を彷徨い、互いを愛しながらも

決して成就することのない二人の不死者の奇想天外な物語「至上の命」など、

特異な絢爛たる文体で実存的恐怖と独自の神秘的世界を描く

英国作家M・P・シール作品を愛する編者が

選り抜いた極上の中短篇を収録。



H・R・ウエイクフィールド 渦巻栗 ◆ 編訳

幸運の木立

ISBN 978-4-336-07834-6

爆撃で崩れかけた墓所に潜む邪悪な力、ゴルフ場に出没する怪異、

禁忌の木立、あごひげの老人の悪夢、クリケットと幽霊、

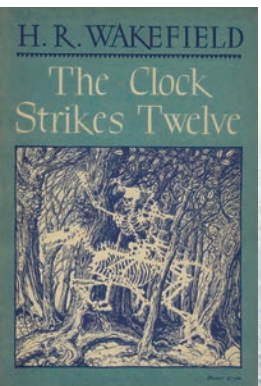
登山者を脅かす第三の影、地下墓地の謎の銘板……

ヴァラエティに富んだ題材と巧みな語り口による恐怖描写で

M・R・ジェイムズ以来の伝統を継ぎ、怪奇小説黄金時代の最後を飾った

恐怖の名匠H・R・ウエイクフィールドの傑作集。

伝統的な怪談から一步踏み出した後期作も含め本邦初訳作品を多数収録。



ロバート・エイクマン 今本涉 ◆ 編訳

葡萄酒色の海

ISBN 978-4-336-07835-3

町中で鳴り続く鐘は死者を生き返らせるためだという。

新婚旅行中の夫婦が海辺の町で遭遇した謎と恐怖を描いて、

エイクマンの名を一躍高めた傑作「響き合う鐘の音」、

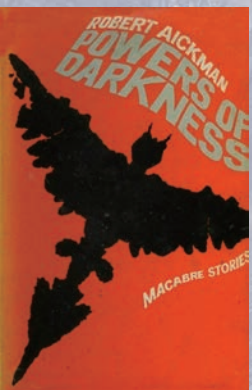
人々が忌み嫌うギリシャの小島に住んでいたのは妖術師を自称する

三人の女性だった……「葡萄酒色の海」他、

「ロシア人の家」「森の中へ」など、意識の闇に潜む超自然的危機を暗示する

新感覚の恐怖小説で、怪奇ファンの熱い支持を集める

ロバート・エイクマンの傑作集。



ジョン・ブラックバーン 永島憲江 ◆ 訳

痛苦の聖母

ISBN 978-4-336-07836-0

若さと美貌を保つため多くの若い女性を殺してその血で湯浴みした

十七世紀ハンガリーの「血の伯爵夫人」エリザベート・パトリに

取材した戯曲「痛苦の聖母」が、まもなく初日を迎えようとしていた。

主演女優の元に入りする暗い過去をもつ医師の後を追う新聞記者クレイは、

やがて悪夢のような事件にまきこまれていく。

超自然的恐怖にミステリ要素を組み合わせた、

ハイブリッド型モダンホラーの先駆ブラックバーンの最高傑作。

